



平成22年11月2日(火)

栃木県 県土整備部 交通政策課

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

記者発表資料

栃木県内の効果的な事故対策の実現に向けて 皆さんの意見をお寄せください (アンケート実施のお知らせ)

国土交通省宇都宮国道事務所と栃木県では、去る10月14日に「第7回道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」を開催し、「新たな事故危険代表区間(案)」として48区間が了承されました。

このたび、交通事故や危険な場所に対し、データから選定された場所(区間)と県民の皆さんの実感から考えられる場所(区間)との差異を確認するため、代表48区間が県民の実感にあっているのか、代表48区間以外に危険と感じる場所がどこなのかをお聴きするとともに、今後の道路行政について、広く意見を募集することとしました。

皆さんから頂いたご意見・ご提案は、第8回会議(12月上旬開催予定)に諮った上で、「新たな事故危険区間」として公表し、対策を進めていきます。

○ご意見、ご提案を募集する内容

- ・「新たな事故危険代表区間(案)」について
- ・県内の道路において、危険と感じる場所、交通安全上問題がある場所について
- ・今後の栃木県内の道路行政について

○意見募集期間

- ・平成22年11月12日(金)まで

○ご意見、ご提案の募集方法

- ・ホームページによるアンケート (<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>)

※その他、高齢者、トラック・バスの運転手などを対象にして、別途アンケート調査を実施しています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ

お問合せ先

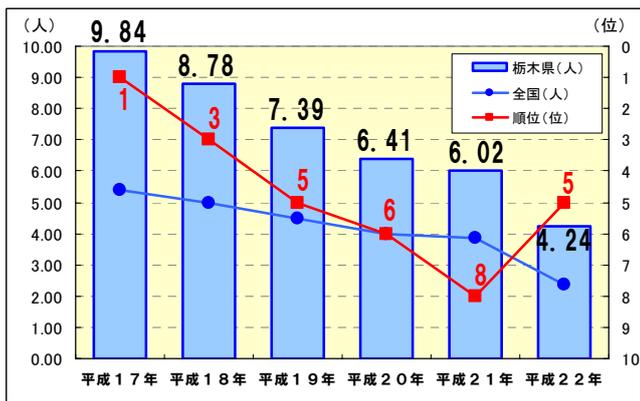
国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所 副 所 長 : 早野 英人 計画課長 : 大里 弘人	栃木県県土整備部 交通政策課 課長補佐(総括) : 船山 通 課長補佐(GL) : 池田 友浩
住 所 : 栃木県宇都宮市平松町504 電 話 : 028-638-2181 (代表)	住 所 : 宇都宮市高田1-1-20 電 話 : 028-623-2408

安全な栃木の“みち”づくり

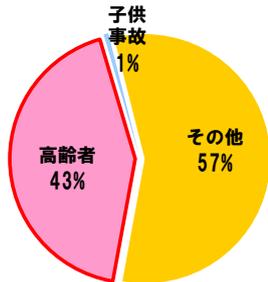
栃木県内の安全性に問題のある区間を改善するため、優先的に対策を行うべき代表区間を抽出いたしました。
抽出した区間に対するみなさんのお考えや、抽出する際の視点、また今後の栃木県内の道路行政のあり方などについてご意見いただき、今後のみちづくりの参考にさせていただきます。

本資料をお読みいただき、アンケートにお答え下さい。

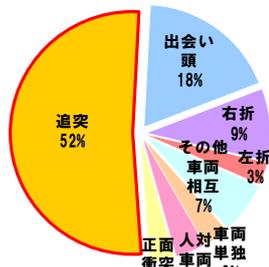
栃木県は全国的にみて死亡事故が多く発生しています。



人口10万人あたりの死者数の推移



[年齢別の死亡事故件数割合]



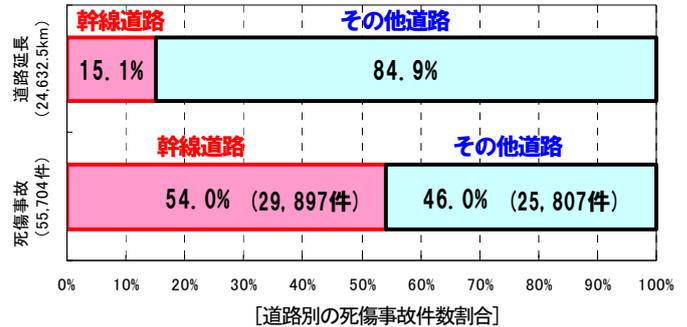
[事故類型別の死傷事故件数割合]

【死亡事故の特徴】

- 栃木県の10万人あたりの交通事故による死者数は、**全国5位**。[平成22年8月末現在]
- 死亡事故の**約4割が歩行者と自転車**。
- 死亡事故の**約4割が65歳以上の高齢者**。

【死傷事故の特徴】

- 事故類型別では、**約5割が追突事故**。
- 死傷事故の**5割以上が幹線道路**で発生。



[道路別の死傷事故件数割合]

事故が多発している状況を踏まえ、以下の視点により事故危険区間を抽出しました。



※死傷事故率：1億台キロあたりの死傷事故件数

【これまでの取り組み】

これまで「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」(委員長:宇都宮大学 森本章倫准教授)では、栃木県の安全性向上のために、県民のみなさまのご意見を参考に安全「要対策箇所」を選び、対策の状況などの情報を発信してきました。

第1回会議(平成17年 11月開催)

第2回会議(平成17年 12月開催)

県民アンケート(平成18年 2月開催)

第3回会議(平成18年 3月開催)

現地診断(平成18年 7月、8月)

第4回会議(平成18年 8月開催)

第5回会議(平成19年 3月開催)

第6回会議(平成19年 10月開催)

【これからの取り組み予定】

第7回委員会(平成22年10月14日)

◆事故危険区間の選定結果 ◆アンケートの実施方法・内容

アンケートの実施

平成22年10月下旬~11月上旬

第8回委員会(平成22年12月上旬を予定)

◆アンケート結果の報告 ◆事故危険区間の決定

事故危険区間の発表(平成22年12月中旬を予定)

宇都宮国道事務所・栃木県ホームページ

栃木県道路利用者アンケート票

【回答される方、ご自身について差し支えない範囲でお答え下さい。】

年齢: 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代(64歳以下) 7. 65歳以上

性別: 1. 男性 2. 女性

住所: _____都・道・府・県 _____区・市・町・村

栃木県内の道路を利用する主な手段: 1. 徒歩 2. 自転車 3. 二輪車 4. 自動車 5. バス・タクシー

栃木県内の道路を利用する主な目的: 1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買物 5. 私用 6. 観光・レジャー
7. その他()

問1:裏面に示す事故危険区間について、どのように思いますか、該当する番号1つを○で囲んで下さい。

1. (概ね)実感と合っている 2. (あまり)実感と合っていない 3. わからない

問2:裏面に示されている区間以外で、危険と感ずる場所(区間)がありましたら、路線名・交差点名・住所などを記入して下さい。

路線名・交差点名・住所など:

問3:事故危険区間を選定するにあたり、最も重視すべき事項について、該当する番号1つを○で囲んで下さい。

1. 事故の大きさ(死亡事故など) 2. 事故の頻度(件数) 3. 事故の当事者・被害者(高齢者・子供など)
4. 事故の発生形態(右折、追突、正面衝突など) 5. その他()

問4:交通事故対策に対するご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

問5:今後の栃木県内の道路行政に関して最も優先すべき内容について、該当する番号1つを○で囲んで下さい。

1. バイパスなどの道路整備 2. 道路の多車線化(4車線化など)
3. 線形不良、狭幅員など危険で走行しにくい道路の改良 4. 交差点の改良(立体化、右折レーン設置など)
5. 歩道の整備・拡幅 6. 自転車道の整備、歩道と自転車道の分離 7. バリアフリー(段差解消など)
8. 橋梁や道路の点検・補修 9. その他()

アンケートの設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本アンケートでお答えいただいた意見、および個人情報等は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

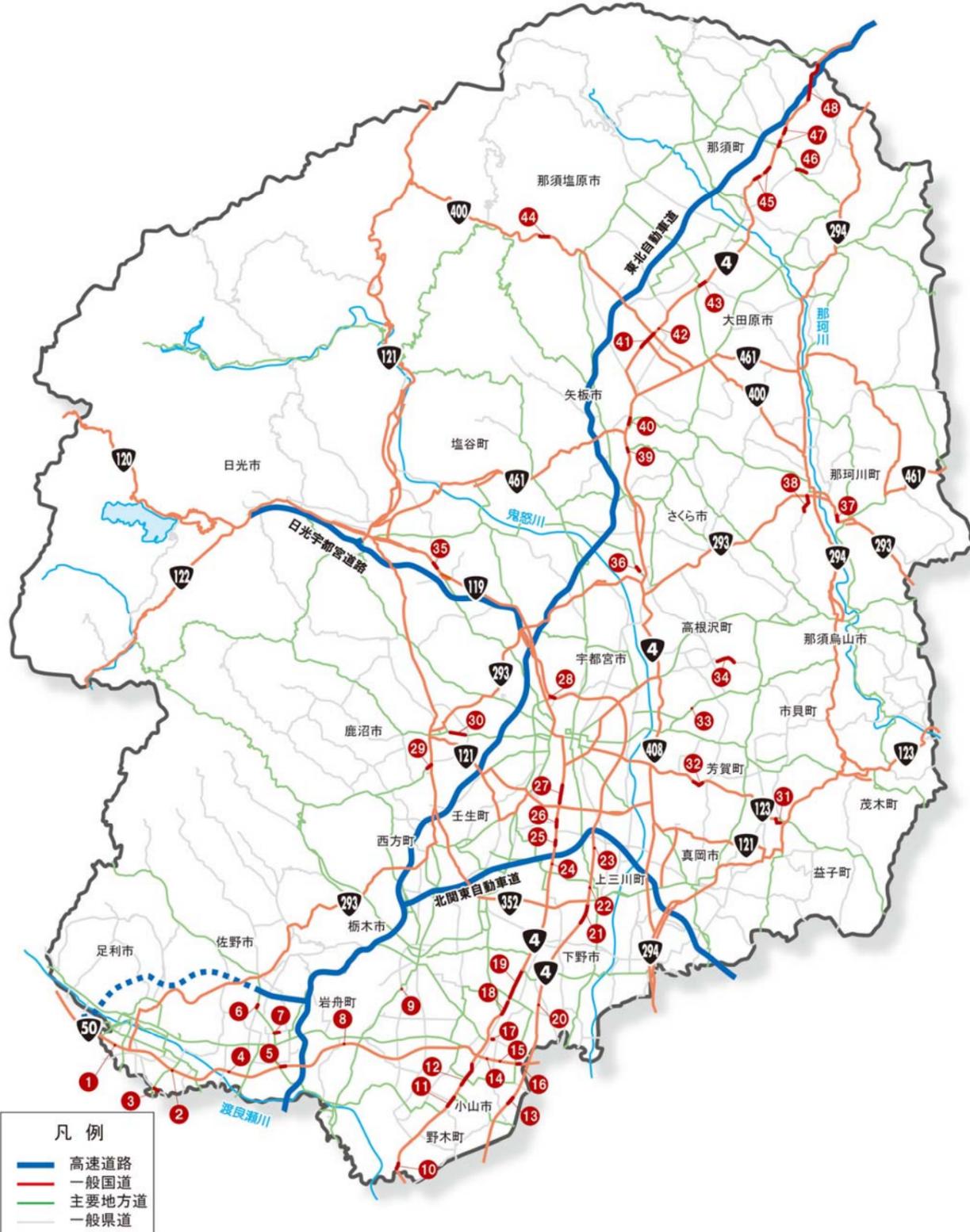
実施主体:道路行政マネジメントを実践する栃木県会議

事務局(お問い合わせ先):国土交通省宇都宮国道事務所 計画課 TEL:028-638-2223

:栃木県県土整備部 交通政策課 TEL:028-623-2409

データ分析より明らかになった『新たな事故危険代表区間(案)』

『新たな事故危険代表区間(案)』位置図



番号	路線名 (区間名)	選定理由 (区間選定の視点)				通学路
		A	B	C	D	
1	国道50号(足利市西新井町交差点)		●	●		
2	国道50号(足利市久保田町交差点)	●	●			
3	一般県道中野御厨線(足利市小曾根町)				●	●
4	国道50号(佐野市下羽田町交差点)		●	●		
5	国道50号(佐野市高萩町)		●	●		●
6	主要地方道佐野田沼線(佐野市吉水町)			●	●	
7	主要地方道佐野田沼線(佐野市堀米町交差点)	●	●	●		
8	国道50号(岩舟町岩舟小学校付近交差点)		●	●		
9	主要地方道栃木藤岡線(栃木市川連)	●	●			
10	国道4号(野木町野木)				●	
11	国道4号(小山市間々田)	●		●	●	●
12	国道4号(小山市粟宮)	●		●	●	●
13	新4号国道(小山市田間)	●		●		
14	国道50号(小山市小山交差点)		●	●		
15	国道50号(小山市駅南6丁目交差点)		●	●	●	
16	国道50号(小山市横倉新田交差点)		●	●		
17	一般県道小山結城線(小山市駅東通り2丁目)	●	●	●		
18	国道4号(小山市喜沢)	●		●	●	●
19	国道4号(小山市羽川)	●		●	●	●
20	新4号国道(小山市出井北交差点)		●	●		
21	新4号国道(上三川町五分一交差点付近交差点)	●	●			
22	新4号国道(上三川町上蒲生南交差点)	●		●		●
23	新4号国道(上三川町磯岡交差点)		●	●		
24	国道4号(下野市鞘堂公民館付近交差点)	●		●		●
25	国道4号(宇都宮市茂原1丁目)		●	●		
26	国道4号(宇都宮市安塚街道入口交差点~雀宮駅前交差点)	●		●	●	●
27	国道4号(宇都宮市上横田町)		●	●	●	●
28	国道119号(宇都宮市宇都宮北道路入口)	●	●	●	●	●
29	一般県道鹿沼足尾線(鹿沼市縦山町)				●	●
30	主要地方道宇都宮鹿沼線(鹿沼市千渡)	●		●	●	●
31	国道123号(益子町七井)			●	●	●
32	国道123号(芳賀町西水沼)		●	●		●
33	主要地方道宇都宮向田線(高根沢町上高根沢)				●	●
34	一般県道杉山石末線(高根沢町太田)				●	●
35	国道119号(日光市大室入口交差点)				●	●
36	主要地方道今市氏家線(さくら市馬場)				●	●
37	国道293号(那珂川町馬頭)				●	●
38	一般県道小川大金停車場線(那珂川町小川)				●	●
39	国道4号(矢板市早川町北交差点)	●	●	●		
40	国道4号(矢板市中)		●	●		
41	国道4号(那須塩原市三島)			●	●	●
42	国道4号(那須塩原市三島北交差点)	●	●	●		●
43	国道4号(那須塩原市大原間)		●	●	●	●
44	国道400号(那須塩原市塩原)			●	●	●
45	国道4号(那須町寺子乙)			●	●	●
46	一般県道豊原高久線(那須町寺子丙)			●	●	●
47	国道4号(那須町寺子丙ほか)			●	●	●
48	国道4号(那須町豊原乙)			●	●	●

代表区間の選定方法

代表区間の選定方法

STEP1

県内の事故データ分析

死傷事故データ

STEP2

区間選定の視点

A. 事故多発区間

- ・死傷事故件数(概ね県平均の10倍)
- ・死傷事故率(概ね300件/億台キロ)

B. 死亡・重傷事故多発区間

- ・死者数(概ね県平均の10倍)
- ・死亡・重傷事故件数(概ね県平均の5倍)

C. 特徴的な区間

- ・夜間事故(概ね県平均の5倍)
- ・歩行者・自転車事故(概ね県平均の5倍)
- ・高齢者事故(概ね県平均の5倍)
- ・追突事故(概ね県平均の5倍)
- ・バリアフリー法

D. 安全性の危惧

- ・地域の声など

STEP3

事故対策実施環境

(計画熟度、関連事業など)
を踏まえて、代表的な区間を抽出

STEP4

パブリックコメントを実施し
県民の皆さまの声を収集

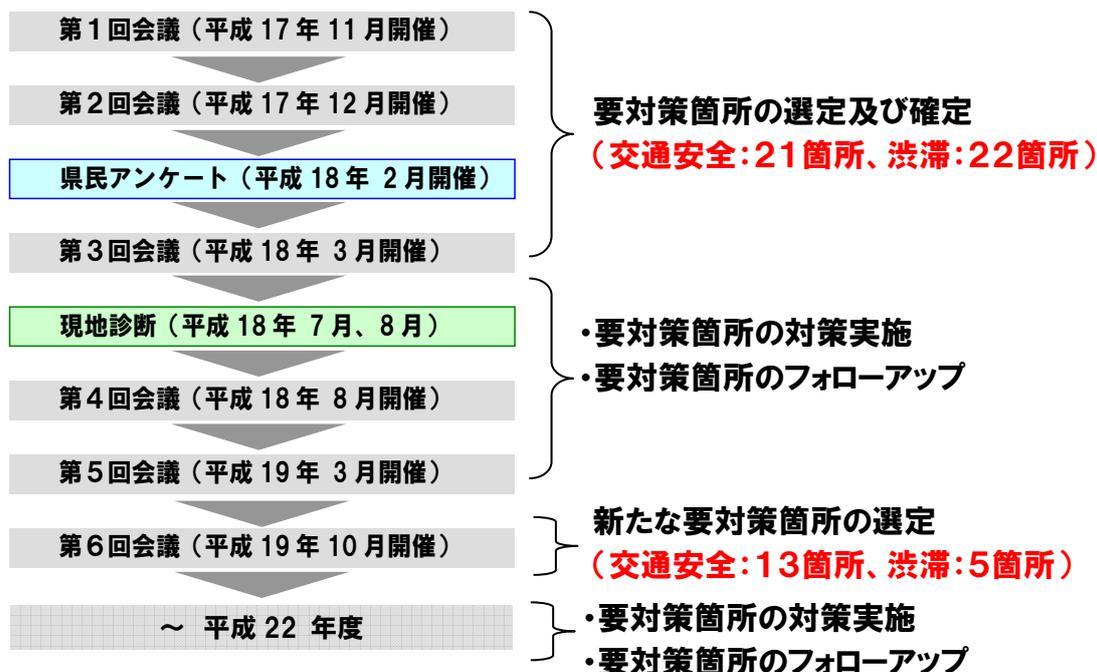
STEP5

県民の皆さまの意見を踏まえ
安全性向上のための代表区間を選定

『道路行政マネジメントを实践する栃木県会議』について

【これまでの取り組み】

『道路行政マネジメントを实践する栃木県会議』は、交通渋滞や交通事故対策について、地域の皆さまや、様々な分野の方々からのご意見をお伺いし、道路施策に反映することを目的に、平成 17 年 11 月に設置しているところです。



【これからの取り組み予定】

